

## コロナウイルスにまつわる嘘

本紙によると、人間のつく嘘には3通りあるという。他人を欺く貯めの嘘と知識不足による意図せざる嘘と統計学だという。(本紙4月4日書評欄、一部改変) ネット上やマスメディアをも巻き込んでBCGを受けるとコロナウイルスに感染しにくいという説は、さながら後の2者の嘘だといえる。

一部の先進国がBCG接種を廃止したのは、1968年から1975年にかけてWHOがインドで行ったBCG接種の効果判定の為の大規模な野外試験の結果が判明した後のことだ。この試験では、9万人の非接種群を対照に9万人の接種群の結核罹患率を比較検討したもののだが、皮肉なことにBCG接種群の結核罹患率の方が高かったのだ。この結果を受けて任意接種だったアメリカや全員接種だった西ドイツはBCG接種を廃止したが、極く近年になってBCG全員接種廃止の3条件を満たして廃止されたフランスも非接種国に含まれているが、それ以前は非接種国とされる西欧諸国も全員接種だったのだ。少なくとも現在45歳以上の年齢の人は、ほぼ全員BCGを接種しているので、高齢者に多いとされるコロナウイルス感染症が、BCG接種歴と全く無関係であることは明白である。

祖父母を交えての大家族での食事、大皿に盛った料理を談笑しながら取り分ける食事、大声で談笑しながらの2~3時間かけての食事。これらの頻度とコロナウイルス感染症の発症率が比較検討されなかったことが、統計学にとっての悲劇だったといえる。